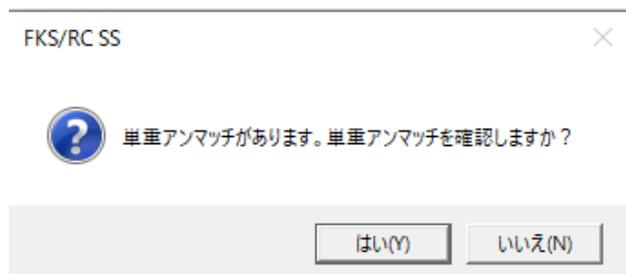


## 単重アンマッチエラーがでる

計算が終了した時に、下記のメッセージが表示されることがあります。



「はい」を選択すると、以下のような画面が表示されます。

部位	階	鉄筋タイプ	材種コード	名称	径	数量(m)
柱	1	普通鉄筋	3	SD295A	9	234.00
階段	1	普通鉄筋			0	4.00

### 1. <柱の例の場合>

これは、単位重量が登録されていない鉄筋を使用しているため、鉄筋数量を t o n に換算できないことを表しています。

考えられる原因は、以下の2つとなります。

- ・鉄筋径の入力を間違った。
- ・単位重量が登録されていない鉄筋材種あるいは径を入力した。

- ① 上記例で説明すると、「1階の柱でSD295Aの9mmの鉄筋が入力されている」ということなので、柱リストを確認します。

部位	記号	階S	階E	メモ	SEQ	その他鉄筋	全表示
C	1	1			2	<input type="checkbox"/> 記号のみ印刷	

主筋	鉄筋1	径	本数	鉄筋2	径	本数
	柱頭	25	12			
	柱脚					
	柱頭					
	柱脚					

フープ筋	タイプ	材種	径	長さ	溶接箇所	X本数	Y本数
(一般部)	外周	G 3 SD295A	9	100			
	中子						
(仕口部)	外周	G 3 SD295A	9	150			
	中子						

- ② 9mmが使用されている箇所を見つけ、9mmが間違いであれば、正しい径を入力すれば、解決します。

③ 9mmの入力が正しい場合、「物件概要」－「材料設定」－「単位重量設定」を呼び出します。



④ 該当材種の該当径のセルに単位重量が入力されていないことによる警告なので、正しい単位重量を入力することにより解決します。



## 2. &lt;階段の例の場合&gt;

これは、入力が必要な鉄筋径が入力されていないケースが考えられます。

①階段プロパティで「踊り場」を拾っているにもかかわらず。

接続指示	水平長さ	高さ	巾	壁厚左	壁厚右	段数	個所
二辺固定	2750	2000	1250				

短辺接続	短辺	長辺接続	長辺	止型枠長さ	個所
二辺固定	1000	2:接続...	2575		

②階段リストの「踊り場」に鉄筋の入力がない

段スラブ		壁内補強	
踏面	180	縦補強筋	径 長さ 本数
蹴上	180	鉄筋1	13 1000 1
厚	150	鉄筋2	
配筋(SW)	\$	斜補強筋	径 本数
通し筋	径 @	鉄筋1	13 1
上端	13 200	鉄筋2	
下端			
イナズマ筋	径 @		
鉄筋1	13 200		
鉄筋2			
踊り場スラブ		ガイドス	
厚	150	階段記号を入力。	
配筋(SW)	\$		
短辺方向	径1 径2 @		
上端			
下端			
長辺方向			
上端			
下端			